

令和元年度 自己評価書

学校名	和歌山市立野崎小学校
校長氏名	川本 智之
作成日	令和2年(2020年)2月29日

1 教育目標

豊かな感性を身につけ、主体的に学習に取り組み、夢に向かってチャレンジする子どもを育てる。

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○和歌山県学習到達度調査で基本問題の正答率が県平均を上回る。 ○わかる授業や学ぶ楽しさを実感する授業の実践。(児童・教師90%)	○学校が楽しいと感じる。(児童90%) ○友だちとなかよくできている。(児童90%) ○いじめのない学校(100%)	○朝ごはんを食べている。(児童100%) ○休み時間には元気に運動場で遊んでいる。(児童90%)	○家庭・地域はそれぞれの役割を果たし、連携協力している。(保護者90%) ○学校の教育活動や子どもの様子が保護者によく伝わる。(保護者90%)
重点目標【P】	◎基礎学力の確実な定着。 ○子ども主体の授業実践。 ○家庭学習の定着。 ○読書活動の推進。	◎道徳・人権教育の充実。 ○居心地の良い学級経営を目指し、いじめ、不登校の解消。 ○挨拶ができる子、心優しい子の育成。	◎基本的生活習慣の確立。 ◎食育の充実。 ○遊び、体育学習をとおしての体力・運動能力の向上。	◎学校運営協議会と連携を密にしながら、子どもの育成を図る。 ○学校や地域の行事等をとおして、地域との関りを深める。
取組の状況【D】	○学習規律を身に付け、学習習慣の定着を図る。 ○家庭学習の内容の充実と保護者との連携を図る。 ○算数科を中心とした授業力向上の研究に取り組む。 ○基礎タイムでは、各学年の工夫した問題に取り組む。	○基本的生活習慣を身につけさせる。(挨拶、整理整頓、時間を守る) ○いじめアンケートを実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。 ○集団作りをとおして思いやりや強い心の育成に努める。	○基本的生活習慣を身につける。(早寝、早起き、朝ごはん) ○自分の限界に挑戦する意識を高める。 ○休み時間には積極的に運動場で遊ぶことを推奨する。 ○津波時の避難訓練を実施し、和歌山大学まで避難した。	○学校と学校運営協議会との信頼関係を築き連携を密にする。 ○各種たより、学校HP等をとおして、積極的に学校の情報を発信する。 ○地域の行事や祭りに積極的に参加する。
取組の成果と課題(評価結果)【C】	○研究授業・協議会を通して授業力向上に向けた共通理解を図り、授業改善に努めた。 ○85%の児童が、毎日の勉強がわかると回答する。さらなる授業改善が必要である。 ○家庭学習・自主学習への取り組みが、全学年で共通理解が進んでいない。	○いじめアンケートを各学期に実施し、全教職員の共通理解のもと、未然防止、早期対応することができた。 ○能動的な挨拶は、徐々に増加しているが、場面や場所により状況が変わり、定着できていない。 ○学校が楽しいと93%が回答。	○規則正しい生活習慣を身につける指導を続け、多くの児童が定刻に登校できている。 ○朝食を毎朝食べている児童が90%いた。 ○寒い日でも、積極的に運動場で遊ぶ子どもが多くなってきている。	○授業参観、運動会などの学校行事、学校開放月間などに保護者や多くの地域の方に、学校へお越しいただいた。 ○保護者アンケートでは、教育活動や子どもの学校の様子が十分伝えられていないことが分かった。
改善方法【A】 次年度に向けての	○授業力向上のため、校内研究授業による研修・校外研修を積極的に取り組む。 ○家庭学習・自主学習の充実を図るため、課題の精選及びさらに家庭との連携を進める。 ○CULTECを活用し、自主学習に取り組む。	○アンケートで、「学校が楽しい」「友達と仲良くできている」が90%を超えた。さらに取り組みを進めていきたい。 ○本に関する関心を高めるため、委員会や図書ボランティアの活用を図り、図書室の充実を目指したい。	○のぎきっ子スポーツ校内記録を活用し、自分の限界まで挑戦する意識を高めていきたい。 ○避難訓練を複数回行っているが、突然の災害発生においても迅速に対応できるよう定期的に実施していきたい。	○今年度と同様に地域との連携を密に、子どもたちを見守っていききたい。 ○育友会や図書ボランティア等と協力して、学校図書室の充実・活性化を図りたい。 ○学校HPの内容の改善に努め、情報の発信を図りたい。

3 その他の課題

・野崎小学校は、来年度全学年で単学級になるなど、児童数が減少傾向にあります。より良い学校づくりを実現していくために、学校・家庭・地域の連携を図りながら、教育活動を進めていくことが重要であると考えます。
・学校施設の老朽化が進み、暴風雨時には、天井からの雨漏りや窓枠からの雨水の侵入など、早急に対応が必要な所が多くある。教育委員会と連携しながら修繕に取り組みたい。